

## 車両ナンバー認証システム

浜松倉庫株式会社 都田流通センター 様 静岡県浜松市



最先端のGX・DX倉庫における車両入退場の自動化をサポート。  
トラック予約/受付システム連携で、物流の「2024年問題」対策に貢献。

1907年創業、地域産業の物流を1世紀以上にわたり支えてきた浜松倉庫株式会社は、2025年10月に新設した「都田流通センターGX・DX倉庫」に「車両ナンバー認証システム」を導入しました。トラック予約/受付システム「トラック簿」\*との連携により、車両受付の完全無人化とトラックドライバーの待機時間大幅削減を実現。環境配慮(GX)とデジタル変革(DX)を両立した先進的施設において、ホワイト物流を推進し、「2024年問題」解決に向けた取り組みとして注目されています。

\*ハコベル株式会社製パース予約管理システム

## 導入の背景

浜松倉庫株式会社では、物流の「2024年問題」や労働人口減少といった社会課題への対応を喫緊の課題と捉え、2025年10月に環境配慮とデジタル化を両立した「GX・DX倉庫」を新設しました。この新倉庫は、ZEB認証取得やWMS(倉庫管理システム)、自動搬送ロボット導入などを進める「チャレンジする倉庫」と位置付けて、ドライバーの待機時間削減と受付業務の効率化を目的に、車両入退場管理のDX化を検討。業界の先進事例を調査する中で、車両ナンバー認証システム導入事例に着目し、「自社が目指すべき姿」として具体的なシステム検討を進め、導入に至りました。

## 導入のポイント

- ▶ 車両入場時にカメラで車両ナンバーを検知・認識し、トラック予約/受付システムに登録された予約情報と照合。自動打刻により受付登録を自動化し、車両受付の完全無人化を実現。
- ▶ 入場口に設置したデジタルサイネージに予約情報と連携したドライバー向け案内を表示。予約状況に応じて、指定されたバースや待機所の場所を表示し、ドライバーをスムーズに誘導。
- ▶ 外部データ連携機能によりトラック予約/受付システムとスムーズに連携。カスタマイズ不要なため短期間でのシステム導入を実現。
- ▶ お客様側では車両入場を予約制とすることで到着状況を可視化。計画的な荷役作業とドライバーの待機時間削減を実現。



入場口サイネージで  
ドライバーに案内表示



赤外線投光器により  
夜間も撮影可能



管理画面に車両ナンバー認証結果を  
リアルタイムに表示



退場口でも車両ナンバーを認証して  
自動打刻

## お客様の声

システムの採用にあたり、業界初となる「トラック簿」との連携は、当社の「挑戦する倉庫」というコンセプトを後押しする大きな決め手となりました。導入効果として、まず受付業務の完全無人化による工数削減が挙げられます。また、予約システムとの連携で「いつ、どの車両が来るか」が明確になり、計画的な人員配置と荷役準備が可能になったことで、ドライバーの構内待機が解消されました。ドライバーからも「受付のために車両を降りる必要がなくなり助かる」と好評です。導入にあたっては、当社の漠然とした運用イメージを具体的なサイネージの表示パターンに落とし込んでいただくなど、手厚いサポートを受けました。

将来的には、本システムを基点として、車両入場と同時に倉庫内ロボットがピッキングを開始するなど、さらなる自動化連携も視野に入れていきます。



浜松倉庫株式会社  
都田流通センター所長

鈴木勉氏



浜松倉庫株式会社  
都田流通センター主任

本多真基子氏



### 浜松倉庫株式会社

静岡県浜松市中央区中央三丁目8番35号  
<https://www.hamamatsu-soko.co.jp/>

1907年(明治40年)創業。倉庫業・一般貨物自動車運送事業を中核に、流通加工・不動産賃貸・レストラン事業など多角的に展開する総合物流企業。正社員比率85%超・平均年齢34.8歳・男女比6対4と、物流業界では異例の若く多様な組織風土を持つ。ISO13485(医療機器)を取得し、海外取引にも対応。2024年には経済産業省「DXセレクトショングランプリ」を受賞。

※記載の法人名・団体名・組織名・所属・肩書きなどは、すべて取材時点でのものです。